

令和 8 年度 第 4 回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和 8 年 7 月 21 日(火) 17:00～18:15

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：11 名

有銘みどり（北部地区医師会病院）、下地千里（県立宮古病院）、西原政好（県立宮古病院）
真栄里隆代（ゆうかぎの会）、砂川 綾子（県立八重山病院）、田盛亜紀子（患者関係者）
友利寛文（那覇市立病院）、戸板孝文（県立中部病院）、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部
健康長寿課）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）、知念崇（琉球大学病院がんセンター）

欠席者：4 名

赤松道成（北部地区医師会病院）、山本孝夫（県立八重山病院）、吉田幸生（県立中部病院）
安次嶺宏哉（沖縄協同病院）

陪 席：1 名

豊福真理子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和 8 年度 第 3 回離島・へき地部会議事要旨について

西原委員より、資料 1 に基づき、説明があった。

2. がん診療連携拠点病院等の指定要件の改定案について

増田委員より、資料 2-1 から資料 2-3 に基づき、説明があった。

主な内容として、がん診療連携協議会の役割強化、がん医療提供体制の集約化・連携推進、アピアランスケアへの対応強化及び地域がん診療連携拠点病院の診療実績要件の見直し等について報告があった。

また、令和 8 年 7 月 31 日に正式な指定要件が公表される予定であり、その後、各医療機関において対応を検討していくことが説明された。

3. その他

【協議事項】

1. 離島・へき地部会が所掌する分野の第 4 次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について

(1) 中間評価方法について

増田委員より、資料 3 に基づき、説明があった。

(2) 中間評価（案）

増田委員より、資料 4 に基づき、以下の 4 つの個別政策について中間評価（案）の説明があった。

- ・施策 1 離島・へき地への情報提供
- ・施策 2 がん診療病院での標準治療
- ・施策 3 診療病院への人材配置
- ・施策 4 本島への渡航費用などの助成

各施策におけるニーズ評価、セオリー評価、プロセス評価、インパクト評価及び総合評価について説明が行われた。委員から大きな修正意見はなく、追加意見がある場合は後日事務局へ連絡することとなった。

2. 北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について

増田委員より、資料 5 に基づき、説明があった。

専門外来の実施回数について、月 1 回から月 2 回への拡充を幹事会へ提案したところ、患者数や医療機関側の負担、予算及び人件体制費などについて、更なる検討が必要との意見があり、継続協議となった旨報告があった。

西原委員より、宮古病院においては放射線治療外来及び腫瘍内科外来について、専門医との相談体制が構築されており、現状の月 1 回体制で概ね対応できているとの説明があった。

一方、血液内科外来については、県外医師による支援体制であることから、継続的な相談体制や患者支援の観点から月 2 回程度の実施が望ましいとの意見があった。

また、患者会真栄里委員からは、患者の安心感や受診機会の確保、身体的・経済的負担軽減の観点から、専門外来の充実を望む意見があった。

現行の月 1 回体制を継続しつつ、今後の患者ニーズや運営状況を踏まえながら引き続き検討していくこととなった。

3. 次回の開催日について

8 月末開催予定

4. その他